



持続可能な 未来のために

小田原市は、再生可能エネルギーの一層の導入拡大と、地域での利活用促進を目指します

気候変動による影響が深刻化し、2050年に温室効果ガスの排出を実質ゼロにすることは、持続可能な未来に向けて避けては通れないものとなっています。

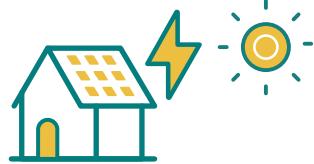
2030年までの、これからの10年間。その行動が、未来を大きく左右します。

小田原市は、再生可能エネルギーを地域でムダなく活用するしくみの構築を通じ、行動を加速させていきます。



持続可能な未来に向けて小田原市民ができること

再エネを創る



再エネを積極的に使う



再エネをムダなく使う



2030年。エネルギーにまつわる様々な取組は、地域全体での効率的なエネルギー利用につながっています。例えば、家庭で余った再生可能エネルギー電気は、地域の脱炭素サービスの創出にムダなく貢献。EV(電気自動車)や蓄電池は、再生可能エネルギーの変動を吸収する受け皿として。エネルギーを「創る」「使う」「貯める」が効果的に行われています。便利な暮らしを享受しながら、知らず知らずのうちに地域に貢献する、参加型のエネルギーシステムへ。一人ひとりの取組が、持続可能な未来の実現につながっていきます。

小田原で始まっているエネルギーにまつわる様々な取組

公共施設等の屋根を活用した 再エネ創出



再エネEVをシェアして 効率的な利用



小学校への太陽光+蓄電池導入による 防災力強化



まずは、電気自動車に触れてみよう！試してみよう！



15分
220円から
使える！
燃料費込み！



24h365d
お近くの
ステーションで
いつでも使える！



スマホと
クレカと
免許証が
あればOK！

会員登録はこちら

最短30分で完了！
スマートフォンから今すぐ会員登録！

手続き
簡単！

入会無料 月額料金なし

※たまに使いプランの場合

詳しくは **eemo** で検索



詳しくは
こちらから



eemo-1年間の活動報告-

CO2削減量

CO2
約14t
← 杉の木 1,000本分

ガソリン車から電気自動車に
シフトすることで削減できた
CO2排出量。

※樹齢50年、高さ20-30mが1年間で吸収するCO2量に換算

再エネ利用率

67%

eemoが1年間で消費した
電気の再生可能
エネルギーの利用率

ステーション数

27
か所

eemoの車が配備されているステーションの数

会員数

1,200人

2021年7月時点

車両数

47
台

eemoで導入されている電気自動車の数

のべ利用者数(利用回数)

約5,500人

eemoをご利用いただいた回数



のついているステーションのeemoの車両は
湘南電力のカーボンフリーメニューで走っています！



「湘南のカーボンフリー」とは

神奈川県内で太陽光や水力によりつくられる電気をご使用いただき、同量のJ-クレジット(再エネ電力由来)をご提供するサービスです。RE100の目標達成のほかカーボンオフセットへの取組が可能となり、湘南電力独自の認証マークで認証します。(このメニューの電源構成にはFIT電気を含みます)

湘南のカーボンフリー

検索



小田原市及び湘南電力株式会社、株式会社REXEV(eemo運営企業)は事業協定を締結し、2019年度から「EVを活用した地域エネルギー管理モデル事業」に取り組んでいます。

eemoの電気自動車は、蓄電池として再エネを調整したり、非常時は防災電源としても利用されます。



小田原市



湘南電力



REXEV